

# ●第3号議案

## 2018年度事業計画(案)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 食生態学実践フォーラム

### 1 事業の計画

本法人は15年を経て社会的評価も高まり、今後の活動が期待されている状況を踏まえ、事業を推進し実践と研究の双方向から展開する。近年の社会・経済環境の変化に伴う経済格差の拡大が食・栄養問題に影響していることが明らかにされてきている中で、子どもの食の自立支援や被災地等、地域や会員のニーズに対応し、多様な職種との協働、連携を通して、会員の質の向上と内容の充実を更に図る。なお、活動に合わせた運営体制の整備・強化を図るとともに、引き続き、新規会員の増加を図る努力をする。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出見 込み額 (千円)
食生態学や関連する分野の調査・研究事業	(1) 食生態学に関する理論研究 1) 研究方法論の検討	(1) 1) 2018.4~2019.3	(1) 1) 法人事務所	(1) 1) 5名	(1) 1) 会員 他	70
栄養・食を支える専門家の質を高める研修事業	(1) 研修会 1) 総会研修会(15周年記念) 2) 「さかな丸ごと食育」サポーター研修※ ① 「さかな丸ごと食育」生活者サポーター研修会 ② 「さかな丸ごと食育」養成講師研修会 ③ 「さかな丸ごと食育」養成講師レベルアップ研修会 (2) 食育プロモーター養成講座 1) 食育教材「3・1・2弁当箱法」 ① ブラッシュアップ講習会 ② B・Cコース講習会 (3) 国際協力研修 1) 外国人研修 (4) 学会等での活動 1) 第65回日本栄養改善学会 (5) 地域コア活動	(1) 1) 2018.6.3 2) 2018.4~2019.3 ① 年度内100回 ② 年度内6回 ③ 年度内2回 (2) 1) ① 年度内1回 ② 年度内1回 (3) 2) 年度内1回 (4) 1) 2018.9.3 (5) 年度内4回	(1) 1) 日本女子大学新泉山館 2) 各地の集会施設 (2) (2) 1) 各地の集会施設 (3) 2) 名古屋学芸大学 (4) 1) 新潟県 (5) 仙台、埼玉、神奈川、名古屋	(1) 1) 20名 2) ① 40名 ② 5名 ③ 5名 (2) 1) ① 4名 ② 3名 (3) 2) 2名 (4) 1) 4名 (5) 8名	(1)~(5)食に関わる専門家	2,750
食生態学や関連する分野に関するプログラム・教材開発事業	(1) 食育等企画・評価、コンサルティング 1) 「魚」食育普及事業※ 2) 子ども食堂等への「食」の支援 3) 被災地等への食からの支援 4) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構展示への協働出展(全国栄養士大会) (2) 食育カレンダーの企画 (3) 「3・1・2弁当箱法」食育プログラム・教材開発 (4) 技術協力(企画・実施・評価、講師派遣等)	(1)~(4)2018.4~2019.3 4) 2018.7.28~29	(1)~(4)法人事務所他 4) パシフィコ横浜	(1) 1) 25名 2) 10名 3) 3名 4) 4名 (2) 5名 (3) 4名 (4) 5名	(1)~(4)会員並びに市民	3,850
食育セミナー事業	(1) 食からの自立を支える食育セミナー	(1) 年度内1回	(1)	(1) 10名	(1) 小中学生15名	200
食生態学や関連する分野の情報発信事業	(1) ホームページ等による活動 1) ホームページ (2) 会報等による活動 1) ニュースレター 2) 機関誌「食生態学-実践と研究」第12号 (3) 15周年記念誌発行準備(2019年秋発行予定)	(1) 1) 随時更新 (2) 1) 年度内3回 2) 年度内1回 (3) 2018.4~2019.3	(1)~(3)法人事務所等	(1) 1) 17名 (2) 1) 10名 2) 9名 (3) 10名	(1)~(3)会員並びに市民	755

※ 一般財団法人東京水産振興会委託による事業